

2018年4月27日、糖尿病教室が開催されました。

『足病変とフットケア』『糖尿病とがんと認知症と』のタイトルで、青木看護師(京都府糖尿病療養指導士)と上野医師(日本糖尿病学会専門医)にお話しいただきました。

『足病変とフットケア』では糖尿病の合併症のひとつとして足病変があること、重症になると足を切断しなければならないことを実際の足病変画像を見ながら学びました。足病変の画像は普段見ることのできないものであり参加された方は興味をもって見ておられました。

日常生活において足のケアすることで足病変の予防につながることや実際の足のお手入れ方法についてのレクチャーもあり、普段あまり見ていなかった足を観察するきっかけになりました。

『糖尿病とがんと認知症と』では前半が糖尿病とがん、後半は糖尿病と認知症の関連についてお話しいただきました。

血糖値のコントロールが不良であると、がんや認知症を発症するリスクが高くなる理由を様々な角度からお話しいただき、糖尿病はがんや認知症とも深く関わっていることを知ることができました。

また、そうならいためにどうしたらいいのか、についてもお話しいただき、今日からできる予防方法を学びました。

参加された方からは「すごくよかった」「ためになった」「足の写真に驚いた」など様々な感想をいただき有意義な時間となりました。

次回の糖尿病教室は7月27日(金) 14:00からを予定しております。

「夏の過ごし方」をテーマにお話しいただきます。申し込み不要、参加費無料、どなたでもご参加いただけます。ぜひお越しください。

糖尿病教室風景

